

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型 放課後等デイサービス ぽこあぽこ			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 4日		～	R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	R7年 1月 4日		～	R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全肯定の支援方針に基づき、児童さんの「やりたいこと」やニーズを尊重しています。	児童さんの特性や年齢に合わせて、室内環境の模様替えを行ったり、活動内容を柔軟に調整しています。また、自然な交流の機会も大切にしています。	面談の頻度を増やし、保護者の皆様からのフィードバックも積極的に取り入れ、より個別ニーズに対応したプログラムを提供します。
2	就労準備や社会性の育成に向けて、児童さんの成長をサポートするプログラムを提供しています。	プログラム内容は毎年アップデートし、児童さんの成長に合わせて新しい活動や学びの機会を取り入れています。	マンネリ化を防ぐため、季節に応じた新しいアクティビティやイベントを導入し、常に新鮮で学びの多い体験を提供します。
3	毎日の室内・車両・施設周囲の点検を徹底し、児童さんが安全に過ごせる環境を提供しています。また、報告・連絡体制にも抜けがないよう注意を払っています。	朝礼・終礼でスタッフ間の情報共有を行い、活動中の安全確認や緊急時の対応力を強化しています。	他の事業所や系列の事業所、専門機関との連携を強化し、他施設の取り組みや成功事例を積極的に取り入れ、支援の質を向上させます。また、報告内容やチェックシートの見直しを行い、より高いリスク管理体制を整えます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部の活動内容が固定化され、児童さんに新鮮さや刺激を提供できていない場合があります。	日常業務の忙しさや、安全・安心を優先するあまり、新しいプログラムやアクティビティの導入が遅れがちになっています。	季節やトレンドに応じた新しい活動を積極的に取り入れます。定期的にスタッフ間でアイデアを出し合い、プログラムを見直す機会を設けます。また、他の事業所や地域イベントとの連携を強化し、新たな刺激を取り入れる工夫を行います。
2	保護者の皆様からのフィードバックを十分に引き出せておらず、情報共有が一方通行になってしまうことがあります。	忙しさの中で面談やコミュニケーションの機会が限られてしまい、保護者の声を反映する余裕がないことが要因です。	定期的な面談やアンケートを実施し、保護者の声を積極的に収集します。また、メールやLINE、配布物など複数の手段を使って情報共有を行い、相互コミュニケーションが取りやすい環境を整えます。
3	人員配置や業務量の偏りにより、職員の負担が一部に集中してしまうことがあります。また、職員がスキルアップできる研修や学びの機会を増やす余地があります。	日々の業務に追われる中で、業務の見直しや長期的な職員育成のための時間を十分に確保することが難しい状況があります。	職員全員が働きやすい環境を整えるために、業務の分担やスケジュールの見直しを進めています。また、無理のない範囲で参加できる短時間の研修や、気軽に学べるオンライン学習の機会を提供し、職員が楽しく成長できる環境づくりを目指します。他事業所等との交流や情報共有も積極的に行い、外部からの学びも取り入れていきます。